

発 行

福井県大野市天神町1番1号

大 野 市 役 所

電話(代) 6-1111

郵便番号 912

印刷 松浦印刷所



9月の人口の動き

出生	男 24	女 22	計 46
死亡	17	10	27
転入	54	37	91
転出	38	27	65
世帯数	10,178(前月+6)		
人口	42,601(前月+45)		
	男 20,477	女 22,124	

いま一度文化の意義を

11月3日は文化の日です。この日を中心に市内では文化祭など、いろいろな行事や催物が繰り広げられます。これを機会に、私達が日常生活によく使っています「文化」の意義や活動について、今一度考えてみましょう。

生活を潤す「美」

日吉町の自宅に前田芳雲さんをお訪ねし、文化についてのご意見をお聞きしました。前田さんはノミを振るい続けて40年……、永い年月には数多くの作品を生んでこられました。その中で市民に最もなじみ深いのは雪人形です。鋭角なノミ使いの中にも純粋で忍耐強そうな童の姿は、大野人の心の表現として今も人々から愛されています。

前田さんは「作品が見る人の心を動かし愛されるのは、美、があるからです。美、とは単なる美しさではありません。自然の法則にかなった人間の本来の追求と考えています。現代の人々の多くは表面だけの美しさを追う傾向が強くなりました。これでは生活に潤いは生まれません。潤いは美、であり、創作活動で開けます。ですから、創作活動は専門家だけのものではなく、だれでも生活には必要なことと思います」と…又、大野市民の文化向上については、第1に作家展を多く開き市民が高いレベルの作品に触れること。第2は活動グループをつくり、その中でみがき合うことが大切と力説されました。これからも純粋文化を求めて仏像を彫り続けるという前田さんは創作への情熱ますます盛んであり、さすがに文化に対する考え方や、活動のあり方の意見にはきびしさがありました。



(仏像の創作に意欲を燃やす前田芳雲さん)

横 顔

本名 前田秋太郎、大正3年5月5日生まれ。24歳から31歳まで木彫家旧帝展審査員吉田芳明氏に師事。帰郷後昭和23年に雪人形を発表、第

3、4、5回大野市総合文化祭実行委員会副委員長として文化振興に活躍。昭和46年県文化芸術賞を受ける。代表作は宝慶寺の^{だるま}達磨大師など。

今いそしんでいる方に

市民文化の向上は

楽しい親子の写生会

絵 画 九里剛哉さん

(37歳 商業 元町)

- ① 少年時代から絵は好きで時々描いていましたが、3年前から水彩画を、今年からは油絵を始めました
- ② 日曜日夜間に描いています。
- ③ 絵をかいていると心が休まります。又、老後には生きがいの一つにしたいと思っています。
- ④ 子供と写生に行ったり、絵の批評をし合ったりして親子の対話ができます。又、家族のスケッチをしたり肖像画などを描いて談笑の種になっており、こんな点がプラスでしょうか。
- ⑤ 大野市は絵画活動の低調な所だと思えます。愛好者のグループをつくるのが一番必要なことで、それがないため文化祭の公募があっても、よほど



自信のある者か勇気のある者でないと思いたくありません。又、レベルの高い県美展などは大野へも回るようにしてほしいものです。これが文化向上に大きな役割を果たすと思います。

潤いは趣味から

書 道 酒井洋子さん

(32歳 主婦 錦町)

- ① 小学生の時から書道は好きで、ずっと趣味でやっています。
- ② 夜遅くか、午前中に少しの時間をとります。現在は主婦業と家業で一日中忙しく、その上子供が小さいため一番苦しい時です。
- ③ 家にばかりいる者は家事に埋没しがちです。より人間らしい生活をするためには潤いが必要と思ひ、書道に励むよう心がけています。
- ④ 子供も書道をいやがらずにやっ



市民の文化向上は私達の生活の中に文化活動を多く取り入れることだと言われています。市内には現在いろいろな分野の活動があり、多くの方々が生活の潤いとしていそしんでおられます。今回はその中から5人の方に日ごろの活動の様子やご意見をお聞きしました。その要点は次のとおりです。

① いつごろから始められ、動機は

ますので、親子共通の話題があります。
⑤ 趣味でやっても行き詰まる時があります。ですから指導者と励まし合える仲間が必要です。特に女性の輪が広がるよう望みます。

若い人の参加がほしい

菊づくり 畑山正雄さん

(41歳 大工 土打)

- ① 菊づくりをしていた兄に勧められ9年前に始めました。
- ② 今年は朝夕40鉢の世話をしています。特につぼみができる今は、雨が降

重文橋本家が復元

11月宝慶寺境内に

国指定重要文化財「橋本家」の移築工事は、今年の5月から1,770万円をかけて進められていましたが、そのほとんどが終わりました。
橋本家は木造寄棟造り、カヤぶき、平屋92.5平方^{上せむね}で、約250年前の江戸時代に建てられたものです。

構造はハリが2重に掛けられ、雪に耐えられるよう工夫されているほか、チョンナ削りの太い柱や、馬屋、いろりなど18世紀初期の豪雪地帯農家の様式をよく残しています。

昭和44年12月18日に国の重要文化財に指定されましたが、いたみがひどいため

宝慶寺境内へ移築して永久保存することになったのです。これからは宝慶寺参拝に併せて橋本家が昔の生活をしのぶよすがとして、広く人々に親しまれることでしょう。



(完成が間近い橋本家)

建築には確認申請を

住宅や店舗、工場などを建てる時は、事前に確認申請をして、知事の建築確認

を受けなければなりません。近ごろ確認を受けずに建築しようとする人がかなりありますが、違反した場合は法律によって建築主や工事施行者などが罰せられます。必ず申請をして確

グループづくりから

ちよつとご意見を

へ何でしたか。

- ② 主にいつ活動をされますか。
- ③ 喜びや楽しみはどんなところにありますか。
- ④ 日常生活の上で、特にプラスになっていると思われることがありますか。
- ⑤ 活動を続けていく上での問題やご要望、ご意見を聞かせて下さい。

※れば雨よけなどをしなければならぬなど、大変です。

③ つぼみの出かけは何とも言えない楽しみがあります。又、茎の長さをそろえるのにも苦心しますが、それが上手にできて花をつけた時のうれしさは格別です。



④ 私の菊づくりをまねてか、子供が朝顔などの草花を育てています。こんな点がプラスの面でしょうか。

- ⑤ 菊づくり向上のためには展示会が必要ですが、そのための経費を市から助成してほしいことと、若い人が菊友会に入り活動してほしいことです。

将来は市民バンドに

吹奏楽 石黒元英さん (18歳 学生 稲郷)

- ① 中学校でプラスバンド部に入り、それから吹奏楽が好きになりました。



② 週に2回夜公民館で練習しています。仲間是一般の社会人や高校生19名で、上庄アンサンブルを組織しています。

- ③ 合奏するハーモニー(調和)が楽しみです。又、発表会もうれしいことの一つです。
- ④ 多くの友達ができ、社会生活のよい勉強の場になります。
- ⑤ 一番困っているのは楽器を買う資金です。会員が働いて一応楽器をそろえ

ましたが、まだまだ足りません。将来上庄アンサンブルを大野市民バンドに成長させることが私達の夢です。

仕事の疲れがなくなる

琴 谷口芳子さん (25歳 団体職員 清滝)

- ① 小さい時から音楽は好きでしたが、3年前に街角から流れる琴の音に引かれて習い始めました。
- ② 主に夜師匠の家か自宅で練習します
- ③ 落ち着きがある美しい琴の音を聞いていますと、身も心も落ち着いてきます。仕事の疲れはなくなり、生活が充実するような気がします。

④ 琴を愛する人と友達になれ、いろいろな意見が聞けて勉強になります。

- ⑤ 琴は他の文化部門に比べ、愛好者が少ないように思います。もっと仲間を増やしたいことと、発表の機会を多くし充実してほしいことです。



◆認を受けてから着工して下さい。

申請の用紙と表示板は福井県建築士会大野支部(大野商工会議所内)にあります。申請書は市役所都市計画課へ出して下さい。

開成中の建設始まる

開成中学校建設工事が10月から新庄地係で始まりました。

総事業費は約4億円で、鉄筋三階建て普通教室1棟2,498平方メートル、同特別教室2棟3,398平方メートル、鉄筋・鉄骨平屋の体育館1棟1,749平方メートルを建て、グラウンド15,000平方メートルをつくります。

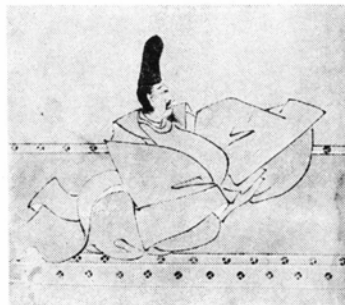
全部完成するのは昭和51年3月の予定です。第1期工事は来年5月30日までで、事業費1億5,195万円をかけ、普通教室21室・放送室・機械室・便所などを建設します。



⑥ 三十六歌仙図

岩佐二代勝重の筆と伝えられる三十六歌仙の図が、天神町の天満宮に奥蔵され、市の文化財となっています。

大野藩主松平但馬守成政が、狩籠の掃路に雷雨にあい、天満宮に雨宿りして本尊を拝し、尊崇の念を抱かれ、当時福井にいた岩佐勝重にこの三十六歌仙をかかせて寄進した



といひます。縦22端、横23端の色紙型着色の歌仙画は、個性の躍動した傑作です。六歌仙ずつ六帳に分冊され、画の上部に題詠色紙がはられ、画帳は桐の箱に収められています。

明治12年に布川正沖らが氏子の人達と共に表装し直したことが箱裏に書かれ、翌年大野を訪れた歌人佐々木弘綱が、賛辞と共に残した歌が箱表に書かれています。

「朝ゆふに こふる心やかよひけんむかしの人を あひ見つるかな」

秋の火災予防週間

暖房器具は安全か

火災の起きやすい季節になりました。11月26日から12月2日までは、秋の火災予防週間ですから、この機会に次のことについて、あなたの家庭は安全かどうか再点検し、悪いところは直ちに改めて下さい。

- 1、老人・病人・幼児の寝室は避難のしやすい所かどうか。又、暖房器具は安全な物を使っているか。
- 2、消火器具の備えは充分か。
- 3、暖房器具の使い方は正しいかどうか

もう一度説明書を読み、家族で話し合おう。

- 4、たばこの投げ捨てや寝たばこをしていないか。

自動消火のストーブを

火災予防条例の改正で移動式の石油ストーブは、昭和52年10月から自動消火装置のないものは使えなくなります。

これから購入される場合は、自動消火装置付の物をお勧めします。



◆…大野市を築く市民のつどいは17日

大野市を築く市民のつどいが次のように開かれます。どなたでも奮ってご参加下さい。

日 時 11月17日(土) 午後1時～4時
場 所 大野市民会館大ホール
テーマ まちづくり運動の輪を広げよう
内 容 実践発表、記念講演

演題「これからの地域づくり運動とは」

講師 流通経済大学教授 渡辺博史氏

◆…年金移動相談所オープン

国民年金は国の福祉政策の根本をなすもので、あなたの生活の保障です。しかし、内容はかなり複雑なので、わからない

ことや疑問をおもちの方もおられるのではないのでしょうか。そこで市では国民年金推進月間を機会に、国民年金移動相談所を次のように開設します。お気軽においで下さい。

11月5日円徳寺前(春日1丁目)、6日妙典寺横(錦町)、7日大野公民館前、8日中津川駅前、13日富田公民館、14日蕨生小学校、15日阪谷公民館、16日六呂師小学校、19日小山公民館、20日五箇公民館、28日下庄公民館、時間はいずれも午後1時から4時までです。

スマイル

「名称変更」

アラブ諸国をアラブ

諸国と呼ぶことにする

××政府

コーナー

◆…農業祭は10、11日に

第5回大野市農業祭は、11月10・11日

今月の納税

保 險 税 第3期分

30日までに納めて下さい。

の両日午前9時から午後4時まで市民会館で開かれます。ご参加下さい。

○…式典、表彰式、記念講演会など
講演会10日午後1時から4時まで。演題は「物価高騰とこれからの農業」、講師はNHK解説委員三神茂氏。

○…お祭りショー
11日午後1時から4時まで、歌謡ショー婦人会員の踊り、奥越大鼓。

○…農林産物品評会、青果物即売会、展示コーナー、近代化コーナー、バザーは両日の午前9時から午後4時まで

◆…消費生活展は市民会館で

みんなの消費生活展が11月9・10・11日の3日間午前9時から4時まで市民会館で開かれます。テーマは「暮らしを脅かすもの」と題して公害、交通戦争、資源不足の問題などを取り上げ、現物や写真を展示します。又、お楽しみの趣味のコーナー、試食コーナー、テストコーナー、廃物利用コーナー、落書コーナーなどもあります。

農業祭と併せて行われますので是非ご覧下さい。

◆…献血にご協力を

献血車が次の日程で巡回します。ご協力下さい。

11月20日(火) 下庄公民館前
11月29日(木) 日本コンデンサ工業株式会社社前
時間はいずれも10時から15時です。

急速に次の季節へと移行する。収穫を終えた野面は、やがて静かな休息の冬を迎え入れようとしている。▼そうした静かな盆地の人たちは、文化祭のもつ意義をその人なりに味わいながら今年の収穫を分かち合う。丁度大野の秋祭りの最後を告げる柳廼社の夜店の灯が、やたらに少年の心に焼きついたころを懐しがるかのよう。大野の文化祭は一見華かさはないが何か落ち着いた雰囲気がある踊りや太鼓の音。各種グループが出演した出品する各種の催し。▼今年は郷土出身の植木昭夫氏の「美しいものとのつき合い」と題する講演会がもたれる。氏は現在旺文社に勤めながら、寸暇を惜んで美への愛着をコケシの中に探ったり、古き民具との出会いに心のふるさとを尋ねてやまない。その豊富な識見と繊細な詩心は、聞く者にしみじみと語りかけてくるであろう。▼数学の権威者、岡潔氏は、数学は情緒だと直言する。情緒に欠ける者は数学は解せないとの意である。そして学生をよく美術館や博物館へ連れて行って、美しいものとの接触を試みられた。大自然の中にはぐくまれた情緒で何かを表現した人間の共感、あくまで謙虚で美しいものに違いない。絵であれ文字であれ、菊づくりであれ人それぞれ個の美性を表現できたそれぞよいのだ。文化とはそんなにいかめしいものではない心の豊かさを願って試みる習作の足跡かも知れない。たとえ貧しくとも。



霜月、大野盆地はひとしお秋の色彩感にあふれる。四囲をとりまく連山は、その頂上から山ろくへと紫紺の深みと錦を添えながら、